



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社Geolocation Technology 上場取引所 福  
 コード番号 4018 URL <https://www.geolocation.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 藤田 浩 TEL 055 (916) 0294  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	597	2.8	112	△31.3	113	△26.3	76	△27.1
2022年6月期第3四半期	580	28.1	163	102.8	153	91.8	105	94.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	50.54	48.33
2022年6月期第3四半期	76.91	69.40

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	754	592	77.6
2022年6月期	715	526	73.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 585百万円 2022年6月期 522百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	758	4.2	101	△34.6	102	△29.7	70	△29.5	46.03

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正については、本日 (2023年5月15日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	1,520,000株	2022年6月期	1,502,800株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	6株	2022年6月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	1,516,612株	2022年6月期3Q	1,366,537株

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、全国旅行支援の実施や新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の緩和等、各種政策の効果により正常化に向かいつつあります。その一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレ加速や急激な為替の変動により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「独自の技術とノウハウを開発し、地域社会にとって価値のある新しいインターネットサービスを提供する」という企業理念のもと、インターネットを通じて「地域社会の活性化」を行うことを使命とし、事業活動を行っています。民間企業に対しては顧客のフォローとともに、個別のニーズをくみ取って最適なサービスを提案する努力を行い、自社コールセンターを活用した営業等を織り交ぜ新規顧客の開拓を推し進めてまいりました。官公庁や自治体に対しては観光促進、健康促進等、各テーマに関する具体的施策の提案やイベント開催時の運用の請負、アプリケーション開発等、受注していた案件の開発・運用成果の滞りない納品に向け取り組みました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は597,300千円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は112,576千円（前年同四半期比31.3%減）、経常利益は113,163千円（前年同四半期比26.3%減）、四半期純利益は76,648千円（前年同四半期比27.1%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (IP Geolocation事業)

IPアドレスに様々な情報を紐づけたデータベースの利用サービスである「SURFPOINT™」及びWebサイトを訪問した企業のリスト化や経路分析などの本格的なウェブ解析を簡単に行うことのできる「らくらくログ解析」は、既存の取引先に安定的な利用をいただいております。インターネットユーザーのIPアドレスから位置情報や気象情報を判定し、それらの情報を活用するターゲティング広告配信サービス「どこどこad」は、当第3四半期会計期間において、第20回統一地方選挙の広告需要を取り込むことができました。「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」は、解約による顧客数の減少があったものの、営業体制の見直しを図り、新規顧客獲得を引き続き積極的に行っています。なお、2023年1月に行った同商品の価格改定は既に売上に貢献しています。Webマーケティングサポートやシティブロモーション支援といった「web制作・各種受託開発」では、当第3四半期会計期間中に予定されていた各種アプリケーション開発等が滞りなく納品・検収されました。しかしながら、第3四半期会計期間の「web制作・各種受託開発」に関する売上予算を達成するための案件獲得ができず予算は未達となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における同事業の売上高は545,710千円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は62,854千円（前年同四半期比49.5%減）となりました。

#### (IPアドレス移転事業)

第1四半期会計期間中に仲介をした大口案件に加え、第3四半期会計期間中に1件の仲介を行うことができたことにより、当第3四半期累計期間における同事業の売上高は51,590千円（前年同四半期比24.9%増）、セグメント利益は49,721千円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は前事業年度末と比較して22,731千円減少し、659,461千円となりました。これは主に、売掛金が57,920千円増加した一方、現金及び預金が82,475千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比較して61,826千円増加し、95,378千円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が61,500千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して39,094千円増加し、754,839千円となりました。

#### (負債)

流動負債は前事業年度末と比較して27,003千円減少し、159,901千円となりました。これは主に、未払金が15,751千円、賞与引当金が6,548千円増加した一方、未払法人税等が30,011千円、未払消費税等が8,835千円、前受金が8,057千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して27,003千円減少し、162,241千円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末と比較して66,098千円増加し、592,598千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が61,620千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年8月12日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年5月15日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	594,649	512,173
売掛金	57,862	115,782
仕掛品	3,984	—
貯蔵品	104	165
前払費用	25,578	28,312
その他	107	3,199
貸倒引当金	△93	△172
流動資産合計	682,192	659,461
固定資産		
有形固定資産(純額)	2,614	3,657
無形固定資産	7,070	12,820
投資その他の資産	23,867	78,900
固定資産合計	33,552	95,378
資産合計	715,744	754,839
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,981	4,165
未払法人税等	44,650	14,639
未払費用	33,893	34,620
前受金	58,071	50,013
賞与引当金	—	6,548
その他	46,307	49,913
流動負債合計	186,904	159,901
固定負債		
その他	2,340	2,340
固定負債合計	2,340	2,340
負債合計	189,244	162,241
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	224,536	225,396
資本剰余金	216,036	216,896
利益剰余金	81,645	143,265
自己株式	△8	△8
株主資本合計	522,208	585,548
新株予約権	4,290	7,049
純資産合計	526,499	592,598
負債純資産合計	715,744	754,839

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	580,885	597,300
売上原価	176,389	203,436
売上総利益	404,496	393,864
販売費及び一般管理費	240,747	281,288
営業利益	163,748	112,576
営業外収益		
受取利息	3	6
助成金収入	570	285
講演謝金	—	293
その他	156	3
営業外収益合計	729	587
営業外費用		
支払利息	139	—
上場関連費用	7,040	—
株式交付費	3,727	—
その他	87	—
営業外費用合計	10,994	—
経常利益	153,484	113,163
税引前四半期純利益	153,484	113,163
法人税、住民税及び事業税	50,906	36,753
法人税等調整額	△2,526	△237
法人税等合計	48,380	36,515
四半期純利益	105,103	76,648

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	539,568	41,317	580,885	—	580,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	539,568	41,317	580,885	—	580,885
セグメント利益	124,522	39,226	163,748	—	163,748

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	545,710	51,590	597,300	—	597,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	545,710	51,590	597,300	—	597,300
セグメント利益	62,854	49,721	112,576	—	112,576

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。